

酪農宮崎

令和7年11月30日 印刷
令和7年12月 1日 発行
編集人:有馬慎吾
発行所:宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県農業協同組合
電話(0985)31-2100
<https://miyazaki.mz-ja.or.jp>
印刷所:宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.649
2025年12月



牛乳無料配布の様子

12月号目次

酪農情勢報告	1	全酪広告	10
畜産近代化リース	2~3	全農広告	裏表紙
疾病対策について	4~5		
農大特集	6~7(上)		
農林漁業者ネットワーク交流会	7(下)		
牛乳無料配布	8		
農学部ナンノ教授のひとりごと	9		



MILK UP!
プロジェクト JAみやざきHP

酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和7年11月14日現在

指定団体	10月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	326,797	100.0	2,358,052	102.1
東北	36,586	98.7	264,517	100.7
関東	82,648	100.3	590,758	100.4
北陸	5,005	96.8	36,776	98.2
東海	22,895	100.2	164,464	99.2
近畿	10,768	98.7	78,252	98.6
中国	23,216	98.9	164,938	99.5
四国	8,047	98.2	57,626	100.2
九州	42,394	99.2	306,828	98.7
(内、宮崎)	5,219	98.3	38,313	98.9
都府県	231,559	99.5	1,664,159	99.8
合計	558,356	99.8	4,022,211	101.1

2. 販売状況

令和7年11月14日現在

用途	区分	10月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	254,285	97.5	1,732,422	99.1
	九州	30,990	97.6	216,637	98.4
はつ酵乳等	全国	34,612	96.1	250,005	98.2
	九州	7,436	99.8	50,846	97.0
特定乳製品	全国	128,135	104.8	1,036,523	106.2
	九州	2,045	128.3	24,168	105.6
生クリーム	全国	108,197	100.2	755,426	100.1
	九州	1,827	99.1	14,584	100.3
チーズ	全国	33,127	102.1	247,835	100.9
	九州	96	100.2	593	91.0
合計	全国	558,356	99.8	4,022,211	101.1
	九州	42,394	99.2	306,828	98.7

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 10月

生乳出荷量		戸数
100t以上		5戸
80t以上	～ 100t未満	1戸
60t以上	～ 80t未満	4戸
40t以上	～ 60t未満	24戸
20t以上	～ 40t未満	62戸
10t以上	～ 20t未満	47戸
10t未満		16戸
合計		159戸
最高出荷量		510t/月
平均出荷量		33t/月

4. トピックス

生乳需給対策の取り組み

年末とは思えないほど日中は、暖かい日もあり、朝夕との寒暖差を感じるこの頃でございますが、人も牛も体調管理に気をつけて頂き、ご自愛くださいますよう、お願い申し上げます。11月初旬に発生しました岩手県三陸沖地震による津波注意報の発令、中旬には、大分県佐賀県の大規模火災の発生、下旬に熊本県阿蘇地方で発生しました、最大震度5強の地震と11月は、立て続けに災害が発生しました。被害にあられた方々に対しまして、衷心よりお見舞い申し上げます。いつ、何時、災害が発生するか分かりませんので、防災に対する意識や心構え、防災グッズや非常食等を日頃から備えておくことが大切であると改めて痛感しております。

今年度よりJミルクの事業として、酪農乳業の持続的な発展に資するため「酪農乳業需給変動対策特別事業」にて、国内すべての生産者、乳業者の両者により生乳取引乳量に対して0.15円/kgを乗じて算出した拠出金を需給対策基金として造成しております。必要に応じて、乳製品在庫削減対策や計画的増産対策等への助成を行なっております。11月4日に開催されましたJミルク理事会により、諸情勢を踏まえ、今年度末(令和8年3月末)に脱脂粉乳在庫が積み増しとなり、在庫数量が約8万t(前年実績約5万t)となる見通しとなることから、先述した需給対策基金を財源に脱脂粉乳在庫削減対策を実施することが決定いたしました。また、11月7日に開催されました九州生乳販連の生乳受託販売員会及び理事会にて生乳需要期の安定供給を図るために九州管内で実施しております季節別乳価につきまして、現行の調整率では、乳価上昇の際に夏冬の格差が大きくなつております。これを解消するために令和8年度より現行の調整率から固定単価制への変更が決定いたしました。今年は、猛暑等の影響もあり、9月の需要期に乳業者からの取引希望数量に対して、生乳生産量が下回り、乳業者へ供給制限をせざるを得ない事態となっております。生産者・乳業者・関係者等が一丸となり、需要期への良質生乳の安定供給と需給ギャップを緩和することにより、生・処、両者にとって、より良い酪農業界となるための制度・施策ですので、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

11月21日に東京都にて「第43回全農酪農経営体験発表会」が盛会に開催され、本県から松浦牧場(新富町)の松浦千博さん・ちひろさんご夫妻より二人三脚で取り組んでいる自社ブランド牛乳等の販売や地域に根差した循環型酪農経営について発表して頂きました。他県からも北海道、岩手県、埼玉県、高知県よりTMRセンターの取り組み、きめ細かな暑熱対策、酪農と農園経営についての取り組み発表がありました。

—唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である—

酪農課 加藤 喜博

畜産近代化リース協会から 畜産農家の皆様へ

機械導入は 「リース」で身近に!

もっと

＼畜近リース利用の5つのメリット／

1 自由な機械選定

ご自分で機種・販売業者を選定し、自ら価格交渉!
中古機械もOK!

2 迅速な手続き

申請受付から契約まで
約70%が3営業日以内!
(※通常リース・令和6年度実績)

3 簡素な審査

農協等を通じての
リース申請となるため、
審査書類も少なく
手続きがスムーズ!

4 低利でわかりやすい支払額

機械代金以外は貸付利子
(年率0.7%)と保険料のみ!
頭金・サービス料・手数料なし!

5 広範なリース対象

畜産に関する機械・設備
であればOK!部分貸付や
設置工事費・運搬費
等の諸経費も対象!



リース料計算例



リース参考

貸付期間6年、110万円(消費税込)で
バーンクリーナーチェーンを
交換した場合の
リース料総額の試算

設置費用(作業費等)もリース料に含まれます。
(令和7年10月貸付開始・譲渡価格0%選択の場合)

※写真はイメージです

附加貸付料率は**0.7%**を令和7年度も継続!
(令和4年度1.0%→0.7%)

支払総額 **1,130,093円**

- 基本貸付料 1,000,000円
- 消費税額 100,000円
- 附加貸付料 22,743円
- 動産保険料 7,350円



支払リース料等
計算書はこちら

お客様

- 畜舎環境の整備に…
- 自給飼料の生産に…
- 草地の造成に…



その他畜産に関する機械・設備であれば
広範囲なリース対象

- 生乳の生産・流通に…
- 精液の保管に…
- 鶏卵の生産・流通に…



申請手続きはお近くの所属農協/酪農協へ

国や地方公共団体、畜産関係団体が実施する各種補助事業を活用したリースにも対応しております。

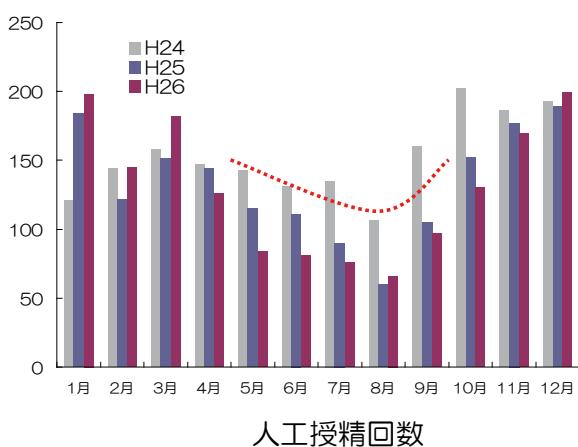
「体外受精卵のすすめ」

こんにちは。NOSAI宮崎ETチームの河野孝典です。

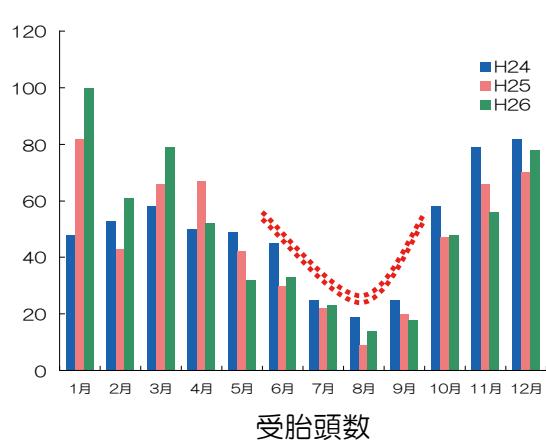
去年に引き続き、今年も暑かったですね。酪農家さんも乳牛も大変だったと思いますが、診療する私たちにとつてもなかなか厳しい夏でした。暑くなると問題になるのが「不受胎」です。まだ全容は把握していませんが、今年の夏の受胎率はかなり悪かったように感じています。

少し古いデータになりますが、3年間(H24.1～H26.12)にわたり、診療管轄内の酪農家19戸・経産牛900頭の人工授精回数と受胎頭数を調べた結果を図に示しています。暑熱期は授精回数が減少しますが、それ以上に受胎頭数の減少が顕著でした(図1～2)。

人工授精回数の推移(図1)

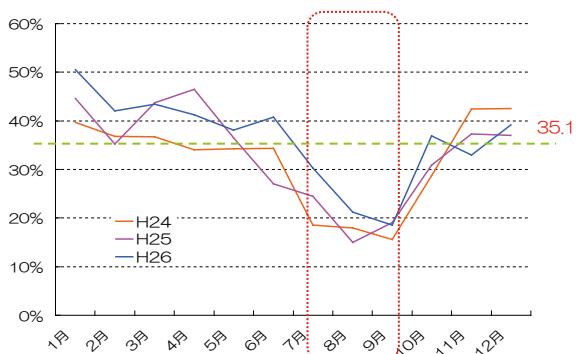


受胎頭数の推移(図2)



調査期間全体の平均受胎率は35.1%(受胎1,749頭／総授精4,980回)でしたが、7～9月の受胎率は明らかに低下し、農場によっては10%を下回るところもありました(図3)。当時、そのような状況を開拓するため、経済連さんと協力して暑熱期に新鮮卵移植を実施したところ、良好な結果を得られました。それ以降、夏場に移植へ取り組む農家さんが増えました。とはいえ、経費の面では人工授精と同じように手軽に移植を行うことは難しいのが現状です。

人工授精による受胎率の推移(図3)



そのような中、SEミートさんのご協力により、新鮮体外和牛卵(無登録：肥育専用)を供給できるようになりました。R6年度より試験供給を開始し、同時にOPU-IVF(経腔採卵一体外受精)の実証試験も実施、R7年度から本格的に事業としてスタートしました。

SEミート卵の利点は、月2回ほど県内全域に新鮮体外卵を安価に供給できる点です。

また、OPU-IVFの利点としては、体内採卵では同一牛で連続採卵を行う場合に約2か月の間隔が必要ですが、OPU-IVFでは2週間間隔で採卵でき、ホルモン処置も不要です。さらに、OPU後の卵子数によってストローの作製を判断できるため、中止や調整が可能で、ストローの無駄がありません。和牛OPUには劣るもの、ホルスタインからのOPUによる卵生産も可能です。

以上、簡単ではありますが、途中経過をご報告いたします。

例年、夏場の受胎率は10~20%程度でしょうか。特に7月の受胎率は低く、0%となることもあります。ここでは、夏場の受胎率を15%と仮定して図をご覧ください。

図4はSEミート卵の移植結果です。棒グラフは受胎頭数と不受胎頭数を、赤い折れ線は受胎率を示しています。R6年9月は15%を下回りましたが、今年の夏は8月も43%と良好な結果が得られました。

県内酪農家のAさんとBさんは、自家和牛から月1~2回、2~3頭の頻度でOPUを実施し、ホルスタインに和牛胚を新鮮移植しています。

SE卵受胎率(図4)

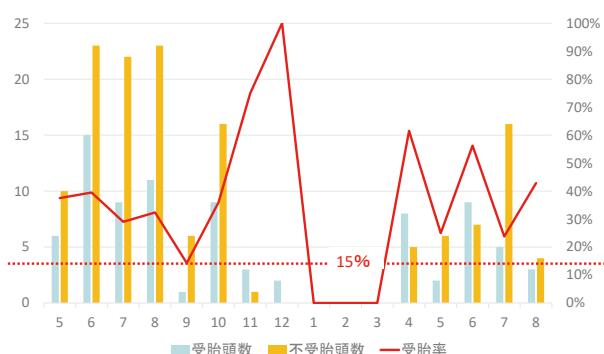
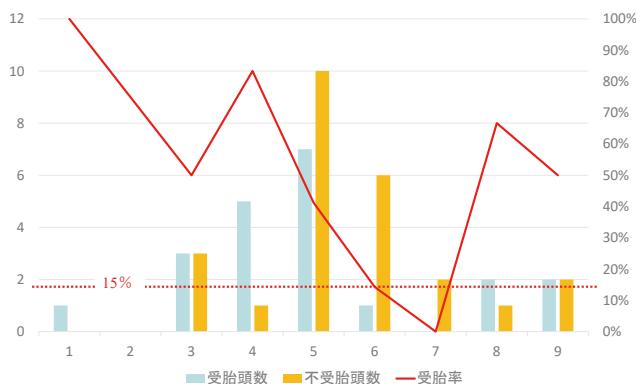


図5はAさんのOPU新鮮卵移植結果で、6・7月は15%を下回りましたが、8・9月を含む他の月では良好な受胎率が得られました。AさんはOPU凍結卵の移植も行っており(図6)、平均受胎率は41.1%と良好です。

図7はBさんのOPU新鮮卵移植結果で、7月は移植を実施していませんが、6・8・9月はいずれも40%以上と高い受胎率となりました。

A農家OPU新鮮胚移植(図5)



A農家OPU凍結胚移植(図6)



B農家OPU新鮮胚移植(図7)



以上、SEミート卵および酪農家さんの取り組みについて報告しました。今後も培養方法の改良や新たな技術習得により、さらなる受胎率向上を目指し、酪農家さんの経営に貢献できるようETチーム一丸となって取り組みたいと思います。今後ともご協力・ご助言をよろしくお願ひいたします。

農大特集①

ミルク・チーズフェスタを開催しました！

令和7年10月26日(日)にルピナスパーク・うまい館にて、農大校と高鍋農業高校の連携した取組として乳製品に特化したミルクフェスタ・チーズフェスティバルを開催しました。高鍋農業高校からは、酪農班の乳牛から搾った生乳を使用して作ったチーズをはじめ、ヨーグルトや酸乳飲料が販売されました。本校からもアイスや焼き菓子など、酪農専攻が搾った生乳をふんだんに使った製品を販売しました。

当日は天候にも恵まれ、多くの方に御来場いただき、商品も大変好評でした。今後も引き続き連携し、両校の交流を深めながら乳製品の消費拡大にも取り組んでいきたいと思います。



農大特集②

各地で頑張る1年生！ 自主企画研修の実施

ご存じの方も多いかと思いますが、農大の1年生たちは自主企画研修といって、自ら選定し、受け入れ交渉をして、約1ヶ月間、生産者や企業での実地研修をするカリキュラムがあります。例年どおり、今年も10月に開催されました。自身の地元の生産者や企業にお世話になる学生もいれば、宮崎県を飛び出して県外で研修を行う学生もおり、各地域で様々な学びを得ております。

研修を終えて農大に戻ってきた学生たちは、文字通り目の色が変わってきます。各研修先で学んだことを農大の実習で活かしながら、将来の自身のあり方を日々模索する頼もしい農大生たちです。





令和7年度 女性農林漁業者ネットワーク交流会 ～手を取り合って未来へつなぐ希望の輪～

11月17日(月)、JA・AZM大ホールにて「令和7年度 女性農林漁業者ネットワーク交流会」が開催され、宮崎県内の女性農林漁業者、関係機関等約120名が参加されました。

午前中の各団体活動発表では、宮崎県農山漁村女性会議の構成団体6団体より活動発表が行われ、宮崎県酪農青年女性連絡協議会からは、長友佳奈美会長が『酪農家の一日』というテーマで、自身の一日について話されました。また、午後のグループ単位での意見交換会では、それぞれの普段の様子や業界の課題だけでなく、夫婦仲や介護についての話題も出る中、和やかな雰囲気での交流となりました。

JAみやざき本店 酪農課 伊豆元 真由子



(団体活動発表の様子)



(意見交換会の様子)

牛乳の消費拡大へPR!牛乳無料配布!

社会情勢の変化による飼料価格高騰や牛乳の需要減退など厳しい状況が続く中、少しでも牛乳・乳製品の消費拡大、酪農の理解醸成につなげようと、牛乳の無料配布を行いました。11月1日に「こばやしふれあいフェスタ」・11月22日～23日に「えびの市産業まつり」・11月23日「こばやし秋祭り」にて牛乳の無料配布を行いました。地域の酪農家やJAみやざき職員と共に約1000本の配布を行い、多くの地域の方々へ牛乳の魅力をPRしました。また、牛の模型を使用した搾乳体験も行われ、子供たちが次々と挑戦し多くの家族でにぎわっていました。それなお祭りでの様子をお届けします！

11月1日「こばやしふれあいフェスタ」



11月22日～23日「第38回田の神さあ産業文化祭」



11月23日「こばやし秋祭り」



農学部 ナンノ教授のひとりごと

ポインセチアはなぜ赤い？

2年前の12月に宮崎市内の直売所でポインセチアの鉢をいただいた。そう、買ったのではなく、タダで配布していたので喜んでありがとうございました。そして2023年のクリスマスは赤と緑の鮮やかなポインセチアが我が家家のリビングを彩った。しかし、赤かった苞（ほう：葉の一種）は、年が明けてからだんだんと緑になっていき、2024年は全体が緑のままで年が過ぎた。そして現在までその姿は変わらない。どうすれば赤く戻せるのか調べてみたら、9月中旬から「短日処理」をすれば良いということが分かった。夕方5時頃から翌朝8時頃まで鉢植えを遮光して“夜”を作る。すなわち、一日24時間のうち15時間を夜に、残り9時間を昼にして、室温15度以上で毎日続けると2ヶ月位で綺麗に赤くなり始めると思った。

動物の繁殖にも長日（日が長くなると発情期が来る）繁殖動物と短日繁殖動物がいることから、植物の世界にも動物と似た仕組みがあると知って興味を持った。馬は長日繁殖動物だが、冬至の頃から長日処理（“昼”の時間が長くなるように日が暮れた後も電球で厩舎を明るく）することで、馬の発情期が早く来るようになる。競走馬の世界では、このようにライトコントロールして年が明けてからできるだけ早く妊娠させることで、より大きな馬を生産することが可能となる。同じ年に生まれた馬同士が同じレースを走るということは、その年の少しでも早い時期に生まれた方が大きく成長しているので有利になる。

短日処理することで赤くなる苞には、受粉を助ける昆虫を呼び寄せる（昆虫が花にたどり着きやすくなる）役割があるとされている。これは植物にとっての一種の“発情”なのか？もしも、赤を見せて昆蟲だけではなく人間をも魅了し、人間の力を借り

南野 快

りで多くの鉢（仲間）を増やすという戦略を取っているのだとすれば、大変したたかで賢い植物だと言うことができる。

メキシコ原産のポインセチアは、アメリカの初代メキシコ大使のポインセットさんがアメリカに持ち帰ったことから「ポインセチア」と名付けられたらしい。その昔、メキシコに移り住んだ宣教師たちが赤く色付くこの植物を見てキリストの血と捉え、キリストの誕生祭で使ったらしい。以来、ポインセチアはクリスマスの飾りとして使われるようになったとか。メキシコではポインセチアを“聖夜”（スペイン語で「ノーチェ・ブエナ」）と呼んでいる。

ちなみに和名はショウジョウボク（猩々木）と言う。「猩々」は妖精で、赤い体毛や赤い血を持ち、酒を好むといわれている。花言葉は「幸運を祈る」。私としては赤ワインを飲んで、来年の幸運を祈ることとしよう。



写真 宮崎空港ビルディング出入り口に飾られていたポインセチア
(2025年11月20日撮影)

ZENRAKUREN



初乳粉末製品

全酪連の牛用混合飼料

GOOD START

PREMIUM

グッドスタート プレミアム 内容量 250g/袋

免疫グロブリン
70g/袋以上
含有

和牛
にも!

消化・吸収・機能性に優れた各種成分を配合しました!

良質な
初乳粉末

中鎖脂肪酸

ビタミン
ミネラル乳酸菌
ビフィズス菌

全卵粉末



全国酪農業協同組合連合会

くみあい配合飼料 乳配

くみあい配合飼料

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0% • TDN 72.0%
- ヘイキューブ、綿実を多く配合したミックスタイプ



➤ 乳スタンダード

- CP 17.0% • TDN 74.0%
- ローコストでベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0% • TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ デイリープレミアムM

- CP 17.0% • TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➤ パワースマッシュ

- CP 17.0% • TDN 74.0%
- シンプルな内容で低成本を実現



JAグループ

農協

全農

| 経済連 | くみあい飼料